

栃木県職員 募集案内 2026



TOCHIGI
RECRUIT GUIDE



ホームページも
御覧ください

知事メッセージ



栃木県は、四季折々の美しい自然、世界遺産「日光の社寺」に代表される歴史と文化、豊富な温泉、美味しい水、そして半世紀以上にわたり生産量日本一のいちごをはじめとする多彩な食など、多くの魅力にあふれています。都心へのアクセスも良く、様々な産業がバランス良く発展しております。

一方、私たちを取り巻く社会経済環境は、人口減少・少子高齢化による労働力や地域の担い手の不足、気候変動によるリスクの高まりのほか、デジタル化の急速な進展など、時代の大きな変化の中にあります。

このような状況にあっても、本県が目指す将来像「共に創る 人も地域も輝く “元気なとちぎ”」を実現するためには、県民目線に立ちながら、スピード感を持って、新たな課題に積極果敢に挑戦していく必要があります。

「栃木県職員ガイド」は、栃木県の魅力・実力に更なる磨きをかけるべく活躍している職員を紹介することで、県職員を目指している方・関心のある方が、その業務等について理解を深めていただくために作成したものです。

県民が安全で安心に暮らせる「とちぎ」、日本のみならず世界から選ばれる「新しいとちぎ」をつくるために、皆さんの力とアイデアが必要です。

ぜひ一緒に、「とちぎ」の未来をつくっていきましょう。

令和8(2026)年2月

栃木県知事 福田 富一

栃木県が求める人材

高い意欲を持ち、自身の能力を最大限発揮できる

「挑戦する職員」

栃木県職員としての強い使命感を持った

「信頼される職員」

県民目線を徹底し、官民連携ができる

「協働する職員」

目次 *contents*

採用イベント情報	2
栃木県庁の組織	3
栃木県職員職種一覧	4
ワーク・ライフ・バランスの推進	9
仕事と子育ての両立支援	10
給与、研修制度	11
人事異動、キャリアパスインタビュー	12
採用情報トピックス	13
【裏表紙】試験種目・日程	

試験に関する情報・受験申込

栃木県職員募集案内ホームページ
<https://tochigi-saiyou.jp/>

受験申込はホームページから電子申請のページにアクセスして電子申請で申し込んでください。

本冊子で紹介する職員のメッセージも
さらに詳しく掲載!



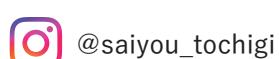
ワーク・ライフ・バランス
特集も

SNSでも情報配信中!

採用情報を随時更新!//



お仕事紹介を毎週配信中!//



採用イベント情報

詳細はホームページをチェック



「県庁就活ナビゲーター」利用者募集

栃木県庁の仕事について詳しく知りたい方を対象に、先輩職員(県庁就活ナビゲーター)を独占して個別相談ができます。

希望日時に合わせて実施しますので、県庁で働くことに興味のある方はぜひ活用してください！

対象者 将来、栃木県職員になりたい(又は考えている)方

- ・高校1年生以上が利用可能
- ・県職員採用試験等の申込み～最終合格発表までは利用不可
- ・最終合格者の方の利用もOK！

実施方法 対面(栃木県本庁舎等)又はオンライン

実施日時

- ・申込みの日から概ね2週間先の希望日時を調整して決定
- ・30分間程度

座談会「トークカフェ」随時開催

栃木県職員として働くことに興味がある方を対象に、県職員の仕事内容やワーク・ライフ・バランスについてのフリートークを行うトークカフェを開催しています。

各回10人前後で、アットホームな雰囲気で実施しています。

県職員と気軽にお話できる機会ですので、ぜひ参加してください。



採用試験や職種に関する説明の動画を配信します！

採用試験等受験者向けに、採用試験等の日程や内容、職種別の業務内容等を紹介する動画を配信します。実施予定の採用試験等について、採用HPで順次公開していくので、受験予定の方はぜひ確認してみてください。

インターンシップ・現場見学会・オープンゼミ

栃木県では、先輩職員との交流や職場(現場)見学・体験などへの参加を希望する大学生等の受入れを行っています。職場体験では、資料作成・企画立案・現地調査など受入所属によって様々なメニューが用意されています。

県庁を身近に感じ、県の業務や働く環境を理解する上で、またとない機会です。

日程・定員や申込期限など、
詳細はこちらをチェック



人事課
ホームページ



〈参考〉令和7(2025)年度の実施状況 ※今後の実施予定は県ホームページから確認してください。

行政職インターンシップ

- ・申込期間 6月上旬
- ・受入期間 8月下旬～9月上旬
- ・対象者 学校教育法に規定する大学(大学院、短期大学含む)及び高等専門学校その他これらに準ずる教育機関に在籍する学生
- ・プログラム(4日間)
 - 1日目 説明会、職場紹介
 - 2日目 オリエンテーション、所属実習
 - 3日目 所属実習
 - 4日目 所属実習、交流会・報告会

技術職インターンシップ

- ・申込期間 6月上旬～下旬
- ・受入期間 8月～9月の3～10日間(実施機関により異なる)
- ・対象者 行政職インターンシップと同一
- ・対象職種 林業、化学、電気、機械、職業訓練指導員、総合土木、農業、畜産、水産、獣医師、建築

技術職現場見学会

- ・申込期間 6月上旬～実施機関の締切日
- ・受入期間 8月～9月の半日または1日
- ・対象者 行政職インターンシップと同一
- ・対象職種 心理、獣医師、臨床検査技師、薬剤師、保健師、管理栄養士、電気、機械、職業訓練指導員、畜産、総合土木

障害者採用オープンゼミ

- ・申込期間 6月中旬～7月中旬
- ・開催日 7月下旬(半日)
- ・対象者 県庁で働くことに興味・関心のある障害のある方
- ・プログラム 業務説明(栃木県庁の仕事の魅力)
障害のある先輩職員による説明等
採用試験説明、職場見学、個別相談

栃木県庁の組織[※] (令和7(2025)年度)

詳しい組織の情報についてはこちら



		主な仕事内容	主な出先機関等
知 事	総合政策部	重要な政策の企画立案や県政の発信のほか、組織横断的な課題に迅速かつ的確に対応できるよう、県行政の総合調整を行っています。また、市町村を支援する仕事や地域の振興、デジタル化の推進に関する仕事をしています。	東京事務所 とちぎのいいもの販売推進本部 (大阪センター)
	経営管理部	予算の編成や職員に関する事、行政改革の推進、税の徴収、文書や県有財産の管理、デジタル県庁の推進など、県庁の運営に関する仕事をしています。	総務事務センター 県税事務所 自動車税事務所
	生活文化スポーツ部	NPO、若者、外国人等の多様な主体の参画による協働の推進やスポーツ・文化の振興、人権啓発、男女共同参画の推進、消費者保護・交通安全など安全で安心な県民生活の確保の仕事のほか、統計調査に関する仕事をしています。	美術館 博物館 とちぎ男女共同参画センター
	保健福祉部	県民の健康づくり、病気の予防や医療に関する事、高齢者・児童・障害者など県民の福祉の向上を図る仕事や生活衛生の向上に関する仕事をしています。	健康福祉センター 児童相談所 障害者総合相談所など
	環境森林部	気候変動対策、大気や水などの地域環境や自然環境の保全、資源循環の推進、森林づくりや林業・木材産業の振興に関する仕事をしています。	環境森林事務所 林業センター 林業大学校など
	産業労働観光部	中小企業に対する融資や経営・技術の支援、新規産業の育成や企業誘致の仕事のほか、国際化への対応や観光の振興、産業人材の育成や雇用の確保などの仕事をしています。	計量検定所 産業技術センター 産業技術専門校
	農政部	農業の担い手の確保・育成、園芸生産の拡大、農地等の生産基盤や農村環境の整備のほか、新技術の開発・普及や農産物のブランド力強化など、農業・農村の振興に関する仕事をしています。	農業振興事務所 農業総合研究センター(いちご研究所) 畜産酪農研究センターなど
	県土整備部	経済の発展や安全・安心な暮らしを支えるため、道路を作ったり、河川を管理したりするほか、土地区画整理、公園、上下水道整備、公共交通体系の整備など、快適な県土づくりの仕事をしています。	土木事務所 下水道管理事務所
	危機管理防災局	自然災害等への対応など、防災・危機管理に関する仕事をしています。	消防学校
	会計局	県公金の出納及び決算、物品の調達・管理及び処分等に関する仕事をしています。	
県議会	企業局	水力発電による電力の供給や水道用水・工業用水の供給、産業団地等の造成・分譲など、県民のライフラインや産業インフラ等を支える地方公営企業の仕事をしています。	発電管理事務所 水道事務所
	議会事務局	予算や条例など県政の重要な事項を決定する本会議や常任委員会等の運営、議事録の作成、議案の調査等に関する仕事をしています。	
	警察本部	安全で安心な地域社会をつくるため、犯罪の予防・捜査、交通取締り、運転免許証の交付などの仕事をしています。	警察署 警察学校
教育委員会	教育委員会事務局	県民が生涯にわたって、学校や家庭、地域など様々な場でいきいきと学ぶことができるよう、教育の推進に関する仕事をしています。	教育事務所 総合教育センターなど

人事委員会、監査委員、労働委員会、選挙管理委員会、内水面漁場管理委員会、収用委員会

職員数・組織数[※]

(令和7(2025)年4月1日現在)

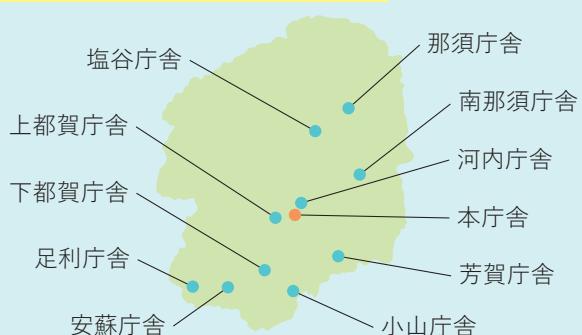
●職員数

一般行政部門…4,404人
警察部門…3,848人
教育部門…14,248人
公営企業部門…285人

●組織数(知事の事務部局)

本庁…8部2局65課1課外室
出先機関…68

主な勤務地[※]



栃木県職員職種一覧

主な職種を掲載しています。(掲載していない職種もあります。)

行政 2,695人

大 早 社 高 選

各種施策の企画立案や、予算編成・執行、庶務などの内部管理業務から、各種事業の推進、県税の賦課徴収、公共事業の用地交渉、許認可などの対外的な業務まで様々な分野で幅広い業務に従事します。

●主な勤務場所

知事部局・教育委員会事務局・企業局等の本庁各課、出先機関、県立学校



▲外部機関とのリモート会議



▲観光プロモーション

“とちぎ”の未来を創る職員を支えます!

経営管理部
管財課
管理担当
令和6年度入庁



スマートフォンで読みとことで、詳い・インタビュー記事を見ることができます!

管財課は県有財産を管理する部署で、土地や建物、自動車など、様々な財産を管理しています。その中で、私は公用車を管理する業務を担当しています。具体的には、車両の維持管理に関する予算の管理、自動車保険の契約事務、職員向けの安全運転講習会の開催などを行います。

また、職場はメリハリがありつつも、非常に穏やかな雰囲気です。日頃から疑問や悩みを周囲の先輩方に相談しやすいため、とても助かっています。



行政(福祉型) 25人

大 社

児童相談所における児童虐待の防止や児童・保護者への支援・指導、健康福祉センターでの生活困窮者等への支援を行うほか、福祉に関する各種施策の企画立案や推進等を行います。

●主な勤務場所

児童相談所、健康福祉センター(福祉事務所)、地域福祉課、高齢対策課、障害福祉課、こども政策課



▲福祉に関する相談対応



▲保護者との面談

小さな一歩を、一緒に喜べる仕事。

保健福祉部
保健福祉課
生活保護担当
令和4年度入庁



私は現在、生活保護業務を行っており、県内の福祉事務所が円滑なケースワークを行えるようサポートしています。主な担当業務は、8つの公的扶助のうち、介護扶助を担当し、毎月の介護扶助費の支払いや介護機関の指定等を行っています。R7年度から現所属に配属され、日々勉強中ですが、課員に相談しながら良い雰囲気で業務に励んでいます。職場は、先輩職員や上司とも気兼ねなく話し合える雰囲気なので、楽しく仕事ができます。



警察行政 (定数) 464人

大 早 社 高 選

組織の運営企画、人事、予算管理や交通安全対策のほか、各種犯罪における証拠品の鑑定、システム開発などの専門的な分野から警察組織運営を支え、栃木県の治安を守る重要な役割を担います。

●主な勤務場所

警察本部、警察署、運転免許センター、警察学校



▲指紋の鑑定



▲自動車運転の運動能力検査

“とちぎ”の安全安心を守ります!

警察本部
警務部
会計課
調度係
平成25年度入庁



日々の警察活動に必要な物品の調達や管理を行っております。その中でも国費予算により調達する事務を担当しています。

この職種にはさまざまな職域があり、会計部門のほか、鑑識や情報管理などのあらゆる業務を通じて警察官とともにとちぎの安全安心を守ることができます。



農業 359人

大 早 社

農業施策の企画立案、農業の担い手の確保・育成や農地の利用集積、新品種及び農業生産技術の開発などの試験研究のほか、新技術や経営改善の普及指導などを行います。

●主な勤務場所

農政部各課、農業振興事務所、農業総合研究センター、農業大学校



とちぎの農業を支えます!



農産物の輸出促進を図るため、輸出に取り組む生産者に対する支援や現地におけるプロモーションを行っています。

農業職の魅力は、農業に幅広い視点から携わることができることです。農業という専門性を持ちつつ、仕事のなかで新たな視点から農業と向き合えることは、これまでと違う発見があり楽しいです。



林業 179人

大 早 社

森林資源を維持し、林業の基盤づくりや県産材の利用促進、しいたけなどの特用林産物生産振興などのほか、貴重な自然環境の保全などの業務を行います。

●主な勤務場所

環境森林政策課、自然環境課、林業木材産業課、森林整備課、環境森林事務所、林業センター、林業大学校



とちぎの森林・林業を守り、育てます!

環境森林部
県北環境森林事務所
森づくり第二課
平成31年度入庁



現在は、県北地域で治山業務を担当しています。山崩れが発生した箇所を工事で復旧し、森林を回復させる手助けをすることで、地域の安全安心に寄与する仕事です。業務内容は、計画地の調査や測量から設計、工事の発注、現場の監督まで幅広く関わっています。職場は若手職員が多く、治山業務の経験がまだ少ない中で事業を進める難しさもありますが、話しやすい雰囲気があり、協力しながら仕事を進められています。



畜産 66人

大

畜産物の生産拡大、流通加工促進、ブランド力強化など、畜産業の振興に関する企画立案や、生産技術指導、試験研究の業務に従事します。

●主な勤務場所

畜産振興課、農業振興事務所、畜産酪農研究センター



とちぎの畜産の持続的な発展のために!

農政部
畜産振興課
生産流通担当
令和3年度入庁



養豚・養鶏・養蜂の生産振興と、県産牛乳・乳製品の消費拡大に取り組んでいます。農業団体等を通じて生産者さんとの関わりの大きい仕事です。

畜産職の魅力は、様々な職場を通じて本県の畜産振興に携わることができる点です。行政・普及指導・試験研究、様々な角度から畜産農家さんを支えるお手伝いができるのが魅力だと思います。



化学 115人

大 早 社

産業廃棄物や気候変動などの環境問題に関する企画立案や指導、水質・大気の常時監視や検査を行うほか、地域企業に密着した各種の研究業務を行います。

●主な勤務場所

環境森林政策課、気候変動対策課、環境保全課、資源循環推進課、環境森林事務所、保健環境センター、産業技術センター



環境保全で地域に貢献!

環境森林部
環境森林政策課
環境立県戦略室
平成28年度入庁



県環境白書の作成や環境影響評価制度に関する業務などを担当しています。環境影響評価制度は、開発事業が自然環境や生活環境に与える影響を調査・予測・評価し、適切な環境保全措置につなげる業務です。化学職は、科学的知見をもとに環境や県民の健康を守る役割を担い、社会貢献を実感できる点が魅力です。



総合土木 315人

大 早 秋 社 高

平成24(2012)年度から、それまでの「農業土木」と「土木」を統合した「総合土木」という区分により採用試験を実施しています。

採用された人は、主に下の「農業土木」又は「土木」の業務に従事します。

土木 241人

県土づくりに関する企画や計画策定、許認可等を行ふとともに、道路、河川等の社会資本の整備・保全や、これらの施設の維持管理、さらに大雨や地震などの異常気象時の緊急対応も担っています。

●主な勤務場所

県土整備部各課、土木事務所、下水道管理事務所、企業局



とちぎの安全・安心を支える仕事

県土整備部
道路保全課
計画保全担当
平成31年度入庁



道路の維持・管理に関する業務を行っております。栃木県内にある橋梁やトンネル、道路アンダーパスといった道路施設は、供用が始まってから50年以上経過しているものも数多くあり、そのような道路施設をこれからも継続して安全・安心に使えるよう、点検・修繕の計画策定や予算調整を行っております。自分が担当した仕事が目に見える形で残る、地図に残るところが総合土木職(土木)の最大の魅力だと思います。



農業土木 73人

農業の生産性向上や豊かな農業農村空間の形成のため、ほ場整備や農道・農業水利施設の整備保全、農村地域の生活環境整備などの業務に従事します。

●主な勤務場所

農村振興課、農地整備課、農業振興事務所



地域農業の未来を支える基盤づくり

農政部
農地整備課
圃場整備担当
平成28年度入庁



農業生産基盤となる農地や水路、道路などを整備する「ほ場整備」の推進業務を担当しています。具体的には、国や県出先機関との連絡調整や事業に必要な予算管理を行っています。

総合土木職(農業土木)は、農業者の方々の期待に応える責任の大きな仕事ですが、様々な人や現場、知識に触れることで自身の成長を実感できる魅力的な職種だと感じています。



建築 79人

大

県有施設(庁舎・学校・県営住宅など)の整備や長寿命化、建築確認・開発許可の指導、建築物の耐震化の推進、あき家対策や良質な住まいづくりに関する業務など、県民生活に密接な分野で専門的な技術や知識を生かした業務を行います。

●主な勤務場所

建築営繕課、建築指導課、住宅課、都市政策課、教育委員会事務局施設課



暮らしの安全を陰から支える仕事です!

県土整備部
建築指導課
審査指導第一担当
平成28年度入庁



現在の担当では、建築物を建てる前に、法令に遵守した計画となっているかどうかの審査や、竣工後に計画どおりに建築されているかどうかの検査を行っています。その他にも、建築のための事前調査に対する窓口対応、長期優良住宅等の認定業務や証明書の発行業務を行っています。審査業務において、住宅、学校、展示場等様々な用途の審査ができるので、建築に関する知識を深めることができるとともに魅力を感じています。



電気 93人

大 社 高

公営企業の経営に関する企画立案、発電所や水道施設の設備の設計・施工や運転・保守管理、新規電源開発などのほか、地域企業向けの研究業務、県有施設の営繕業務を行います。

●主な勤務場所

企業局(電気課、水道課、発電管理事務所、水道事務所)、建築営繕課、管財課、産業技術センター



水と電気、地域とともに

企業局
鬼怒川水道事務所
管理課
令和3年度入庁



市町・工業団地へ水道用水・工業用水を供給するため、浄水場や取水場の維持管理、水質管理、老朽化した設備の更新工事の発注などを行っています。併せて、工業用水の窓口も担当しており、受水企業との供給水量に関する協議や、企業が実施する給水施設工事の審査・立会を行うなど、民間企業の方と接する機会も多くあります。

電気職の魅力は、水道事業のようなインフラを通じて、地域社会に貢献できることだと感じます。



機械 66人

大

中小企業等の新製品開発や技術高度化を支援するため、試験研究機関での研究・技術相談等を行うほか、産業技術専門校において、ものづくり人材の育成を行います。また、県有施設の設備の設計・營繕などを行います。

●主な勤務場所

産業技術センター、計量検定所、産業技術専門校、建築営繕課、企業局(電気課、水道課、発電管理事務所、水道事務所)



とちぎのものづくりを支える縁の下の力持ち



産業労働観光部
産業技術センター
機械電子技術部
令和2年度入庁



ものづくり中小企業などを技術面から支援する仕事をしています。具体的には、技術相談への対応、形状測定や表面粗さ測定の依頼試験、当センターが保有する機器を企業の皆様にお使いいただく機器開放のほか、最新技術を体験できるワークショップの企画・運営、企業との共同研究(3Dプリンタやロボット関連)などを行っています。技術の最前線で活躍しながら成長できる環境が大きな魅力の一つです。



保健師 131人

社 資

県民の心と身体の健康を守るため、広い視野で地域の保健ニーズを把握し、それに応じた施策立案や住民支援を行います。

●主な勤務場所

健康福祉センター、精神保健福祉センター、児童相談所、衛生福祉大学校、保健福祉課



多様な視点で県民の健康づくりを支えます。



保健福祉部
衛生福祉大学校
保健看護学部保健学科
平成25年度入庁



主に、保健師養成課程のクラス運営、担当科目に関する講義等を担当しています。クラス運営では、学生が広い視野を持って学べるよう外部講師の調整や国家試験対策、就職に関する相談を随時行っており、担当科目においては、保健師としての経験を生かした講義ができるよう意識しています。保健師としての経験を生かし、当校の教員という道があることは栃木県職員の保健師ならではであり、魅力の一つであると思います。



心理 61人

大

児童相談所などにおいて児童、障害者、保護者などに対し「心のケア」の面から相談、指導、心理判定などの業務に従事します。

●主な勤務場所

児童相談所、精神保健福祉センター、那須学園、障害者総合相談所



こどものためのプレイセラピー

県民に寄り添う こころの冒険家!

保健福祉部
中央児童相談所
判定指導課
令和4年度入庁



保健福祉部
中央児童相談所
判定指導課
令和4年度入庁



児童相談所では、児童に関する様々な相談に対応します。児童福祉司をはじめ児童心理司や保健師、その他の職種の方々が連携しながら業務を行っています。私は児童心理司として、療育手帳の判定業務、非行少年への心理教育、家庭や施設で生活する児童との面接などを中心に業務を行っています。適切な支援とは何か、検討と実践を繰り返していくのは大変ですが、児童の成長を身近で感じられるのは児童相談所で働く心理職の魅力だと感じます。



臨床検査技師 29人

資

健康福祉センターや研究機関などにおいて、感染症対策や公衆衛生に関する検査、臨床検査技師の養成などを行います。

●主な勤務場所

感染症・疾病対策課、健康福祉センター、保健環境センター、衛生福祉大学校



細菌検査

専門性を生かして、幅広くチャレンジ!

保健福祉部
安足健康福祉センター
健康対策課
感染症予防チーム
平成26年度入庁



感染症発生時は、疫学調査等を通して原因究明や感染拡大防止に努めています。また、高齢者施設等の集団生活を行っている施設に対しては、平時から訪問し感染症発生時に適切な対応ができるよう確認・助言を行うほか、施設職員を対象に感染症に関する研修会を開催しています。その他、検便検査や性感染症検査なども行っています。臨床検査技師としての知識や病院勤務で培った経験を、幅広い業務に生かせることが大きな魅力です。



水産 16人

大

水産業振興のための企画立案や、養殖生産技術、水産資源・生態系保全技術の開発などの試験研究のほか、地域振興につながる水産資源の活用方策などの普及啓発を行います。

- 主な勤務場所
農村振興課、水産試験場、農業振興事務所



▲県オリジナルブランド魚の開発



▲ドローンによるカワウ被害防止対策

管理栄養士 17人

資

誰もが日々関わる「食生活」の改善を目的とした公衆栄養活動に従事します。具体的には、県民の健康や栄養状態を把握するための調査を実施し、その結果を踏まえた施策を展開します。また、給食施設への栄養管理指導などを通じて、食環境の充実を図ります。

- 主な勤務場所
感染症・疾病対策課、健康長寿推進課、医薬・生活衛生課、健康福祉センター



▲給食施設指導



▲健康づくりイベント

栄養士 31人(小・中学校勤務)

献立作成や調理場の衛生管理、栄養や食に関する指導を行います。学校給食を通して、こどもたちの成長をサポートします。※小中学校等勤務の栄養士は、勤務する学校等の属する市・町の職員になります。

- 主な勤務場所
市町立の小学校、中学校、義務教育学校、給食センター



▲給食室での衛生管理



▲教科等における食に関する指導

職業訓練指導員 38人

選

「ものづくり県とちぎ」の産業を担う技術力を備えた人材の育成を行いうため、産業技術専門校では、就職等に必要な技術・技能の指導のほか、就職支援等の業務に従事します。

- 主な勤務場所
産業技術専門校、労働政策課



▲産業用ロボット実習



▲機械工作実習

小中学校事務 457人

大 高 選

給与事務や各種手当の認定、予算の執行・管理、教育施設の維持・管理などを行います。学校運営を側面から支える仕事です。※小中学校事務職員は、勤務する学校の属する市・町の職員になります。

- 主な勤務場所
市町立の小学校、中学校、義務教育学校



▲職員室での文書の説明



▲事務に関する打合せ

獣医師 134人

選

家畜伝染病対策をはじめとする家畜の保健衛生に関する指導・防疫、試験研究や食肉検査、動物愛護指導、生活衛生・食品衛生に関する監視指導・調査研究などの業務を行います。

- 主な勤務場所
医薬・生活衛生課、畜産振興課、健康福祉センター、保健環境センター、動物愛護指導センター、食肉衛生検査所、家畜保健衛生所、畜産酪農研究センター



▲病理検査



▲放牧場での衛生検査

薬剤師 89人

選

医薬品・医療機器等製造業や薬局などの監視指導、麻薬・覚醒剤の取締り、食品・生活衛生監視、食品・医薬品の検査研究などの業務を行います。

- 主な勤務場所
医薬・生活衛生課、健康福祉センター、保健環境センター



▲医薬品製造業者の調査



▲試験研究

※獣医師、薬剤師など、一部の職種の採用については、人事委員会が採用試験として実施するものとは異なり、任命権者が別途「選考考査」として採用を実施しています。詳細は県ホームページで確認してください。

ワーク・ライフ・バランスの推進

栃木県では、全ての職員が仕事と生活の両方を充実させる「ワーク・ライフ・バランス」を実現し、能力を最大限発揮できる職場環境づくりに取り組んでいます。



勤務条件

勤務時間

- ・原則、午前8時30分から午後5時15分まで
- ※一部の職場を除き、時差出勤を選択可能
(午前7時から午前10時までの間で
30分ごとに勤務開始時間を変更)

休日・休暇

- ・完全週休2日制、原則として土・日曜日が週休日
- ・年次休暇(有給休暇):年度ごとに20日が付与
- ・各種の特別休暇あり (例)夏季休暇:6月~10月に6日付与
結婚休暇:結婚前後に最大7日
- ・その他、介護休暇、育児休業制度等あり

テレワーク

- ・業務内容に応じ、テレワーク(自宅やサテライトオフィスでの勤務)の実施を推進
- ・職員一人ひとりにモバイルPCを貸与、府外においてもネットワーク接続可能

フレックスタイム制(選択的週休3日制)

- ・所定の期間内における1週間当たりの勤務時間が38時間45分となるように1日の勤務時間を割り振ることが可能
 - ・フレックスタイム制を活用した選択的週休3日制※を導入(令和8年度から)
- ※選択的週休3日制とは、勤務時間の総量を維持した上で、業務に支障のない範囲で週に1日勤務時間を割り振らない日を設定すること



ソフトボール大会

福利厚生

地方職員共済組合の短期給付(健康保険)と長期給付(年金)のほか、次のような事業を実施しています。

健康管理事業

- ・定期健康診断(全職員対象・年1回)、人間ドック、各種がん検診、歯科検診
- ・一般健康相談、ストレス相談 ・健康増進及び疾病予防のための健康教室 など

元気回復事業

- ・スポーツ大会(ワンタッチバレー、ソフトボール)
- ・各種レクリエーション事業(動物園・水族館等の観光施設や県内プロスポーツ観戦チケットの配布(有償または無償)、コンサート等の特別優待など)
- ・サークル運営助成(職員サークルの活動費等の助成) など

貸付事業

- ・住宅購入、生活用品購入などの資金を低利で貸付

その他

- ・公務災害に認定された場合の様々な補償
- ・宇都宮市内の職員住宅への入居(単身・家族いずれも可)

ワーク・ライフ・バランス実践中!

総合政策部 デジタル戦略課 デジタル社会推進担当
令和3年度入庁



ある1日の タイムテーブル

6:30	起床
6:50	朝食・出勤準備
7:40	出勤(電車)
9:00	勤務開始
17:45	退庁(電車)
19:20	帰宅
20:00	夕食
21:30	譜読み・勉強等
22:15	自由時間
23:00	就寝



Q 仕事とプライベートをうまく両立させているようですね。詳しく教えてください。

小学校から吹奏楽を始め、現在はアマチュア吹奏楽団に所属し、楽器は打楽器を担当しています。基本的に毎週日曜日に練習があり、他の団員とコミュニケーションを図りながら楽しく活動しています。所属している楽団は、年に1回の定期演奏会や吹奏楽コンクールの参加のほか、依頼演奏の機会も数多くあり、非常に充実した活動ができます。演奏会で観客の方から拍手などの反応をもらえた時には、大きな達成感を感じます。

Q プライベートを充実させていることについて、職場など周囲の人の反応や雰囲気はどうですか。

吹奏楽を楽しんでいることに対して、職場や周囲の人からは前向きな反応が多いです。演奏会の話題を共有すると「すごいね」「頑張っているね」と声をかけてもらえ、応援してくれる雰囲気があります。特に、演奏会本番があるときは、土曜日にリハーサル、日曜日に本番という場合もあるため、直前は練習のために勤務時間の変更や休暇を活用させていただいており、自分の好きなことをやりやすい環境だと感じております。

Q 県職員を目指している方へのメッセージをお願いします。

栃木県庁は、趣味の時間を大切にし、仕事へのモチベーションにつなげることができ、より自分らしい働き方・ライフスタイルを実現できる職場です。皆さまと一緒に仕事ができることを楽しみにしております。

仕事と子育ての両立支援

栃木県では、性別に関係なく、職員一人ひとりが仕事にも子育てにも喜びが見いだせる職場、互いに支援し合える職場、誰もが生き生きと働く職場を目指し、仕事と子育ての両立を支援する制度の充実を図っています。

●子育てを応援する休暇制度等

主な制度等	男性	女性	内容・利用期間等	産前8週	出産	産後2週	産後8週	1歳	2歳	3歳	小学校4年生	中学校就学
出産休暇(産前産後休暇)		●	産前8週間、産後8週間									
妻の出産時の休暇	●		入院等の日から出産の日後2週間以内に3日の範囲内 時間単位の取得も可能									
妻の出産時の子の養育休暇	●		出産予定日の8週間前から出産の日以後1年の間で5日の範囲内 時間単位の取得も可能									
育児休業	●	●	子どもが3歳に達する日まで									
育児のための部分休業	●	●	小学校就学前の子どもを養育する場合: 1日を通じて2時間を超えない又は年10日相当の範囲内									
育児短時間勤務	●	●	小学校就学前の子どもを養育する場合: 希望する日及び時間帯において短時間勤務することが可能									
育児時間休暇	● ※	●	2歳未満の子どもを養育する場合: 1日2回を超える合計90分の範囲内 ※配偶者が養育できない場合に限る									
子の看護等休暇	●	●	中学校就学前の子どもを看護等する場合: 5日の範囲内(小学校3年生修了前の子どもが複数いる場合は10日) 時間単位の取得も可能									
フレックスタイム制	●	●	所定の期間内における1週間当たりの勤務時間が38時間45分 となるように1日の勤務時間を割り振ることが可能									

●育児休業等取得状況

(1)育児休業取得率

	令和6(2024)年度	令和5(2023)年度
男性職員	101.0%	85.0%
女性職員	100.0%	98.0%

※教育委員会、企業局及び警察本部を除く

(2)男性職員の子育て目的の休暇取得率

	令和6(2024)年度	令和5(2023)年度
妻の出産時の休暇	91.0%	92.8%
妻の出産時の子の養育休暇	79.0%	67.5%

※教育委員会、警察本部を除く

仕事と子育て両立中!

県土整備部 道路整備課 事業管理担当
平成24年度入庁



Q 育児休業を取ることに対して、職場はどのような対応をしましたか。また、職場の雰囲気はどうでしたか?

「身体を大切にすること」という温かいお声がけや、先輩方の体験談などを色々と教えていただくとともに、代替職員の配置があり、安心して産休・育休を取得させていただきました。

Q 職場に戻る際、具体的にどのようなサポートがありました。

育児時間休暇や育児部分休業の取得について御理解いただくとともに、担当業務について、育休前に担当していた業務のほか、課の内部業務や統計業務等、子どもの体調不良等で急に休んでも支障が出ないよう御配慮いただきました。そのおかげで、発熱等による保育園からの急なお迎え要請や看病による休暇取得があっても、なんとか仕事と家庭を両立することができました。

Q 家庭と仕事の両立のために工夫していることを教えてください。

業務については、保育園のお迎えがあることから時間内に業務を終えること、また子ども2人の急な体調不良で休みを取る可能性を考慮し、計画的かつ余裕をもって業務を進めるよう心がけています。

また、私自身も子どもも健康に過ごせるよう、睡眠時間の確保に努めています。

ある1日の タイムテーブル

6:00	起床、家事、登園準備、朝食
7:45	出勤、保育園送り(夫)
8:30	勤務開始
17:00	保育園迎え 15分早く退庁!※
18:30	帰宅・夕飯作り
19:00	子どもと一緒に入浴
19:30	夕食→家事
21:00	寝かしつけ
22:00	※「休憩時間の短縮」制度を就寝or自由時間 活用



給与

初任給（令和8年4月～）

修了者	研究職	284,128円
医療職(2)	263,744円	
6年制大学卒	医療職(2)	268,424円
行政職	247,104円	
4年制大学卒	研究職	269,568円
医療職(2)	254,696円	
短大卒	行政職	228,176円
高校卒	行政職	214,968円

研究職は、試験場、研究所等勤務で、試験研究又は調査研究業務に従事する化学、農業、林業等に、医療職(2)は、保健所等に勤務する薬剤師、栄養士、臨床検査技師等に適用。
障害者を対象とする採用選考査での採用者の初任給は、高校卒を基本として、職歴や学歴等を考慮の上、決定されます。

※地域手当 4%を含む。

※勤務経験がある場合や、大学院を修了している場合には、一定の基準により加算されます。

諸手当

扶養手当、地域手当、住居手当、通勤手当、超過勤務手当など

※家族構成や勤務状況等に応じて支給されます。

昇給

原則として年1回、勤務成績等に応じて昇給があります。

モデル給与例(行政職)

役職	年齢	月額	年間給与
主事	25歳	265,312円	4,417,444円
主任	35歳	324,790円	5,483,264円
係長	45歳	403,782円	6,910,728円
課長補佐	50歳	436,375円	7,570,013円
課長	55歳	547,129円	9,048,931円
部長	58歳	706,981円	12,237,493円
職員平均	41.7歳	383,581円	6,460,969円

(注) モデル給与例の月額及び年間給与は、給料月額、給料の特別調整額及び地域手当(3.8%)を基礎に算出(課長:給料の特別調整額(79,700円)、部長:給料の特別調整額(130,300円))

期末・勤勉手当（令和8年1月現在）

年2回(6月と12月)、合計4.65か月分が支給されます。

※在職期間によって異なります。

給与は、民間給与の状況に応じて改定されます。

人材育成・研修

研修制度

研修所研修

採用時や採用3年目などに行う基本研修、昇任前に行う能力開発研修、新たに管理的役職に就いた職員などを対象に行う重点研修、職務に必要なスキルなどを学ぶ特別研修など、様々な研修を実施しています。

新採用職員研修では、県職員としての基本的な知識・スキルを習得するとともに、グループワークなどにより、同期入庁者との絆を深めることができます。



自己啓発支援

県行政に関する事項について自主的に研究を行う職員グループに対し、一部助成金の支援を行っています。また、指定通信教育機関の講座を割引で受講できる制度や、自治大学校のオンライン講座を受講できるe-ラーニング研修が用意されています。

派遣研修

中央省庁における政策形成や民間企業の経営感覚に基づく事業展開など、県では経験できない業務に従事することで、能力の開発を図るもの

のです。

いずれも公募制で参加希望者を募集しています。

—<令和7(2025)年度における職員の主な派遣先>—

内閣官房、内閣府、デジタル庁、総務省、外務省、厚生労働省、農林水産省、林野庁、国土交通省、環境省、県内14市町、(株)足利銀行、日産自動車(株)、東京海上日動火災保険(株)、(一財)自治体国際化協会、(株)電通総研、地方税共同機構、日本貿易振興機構、国立感染症研究所

職場研修

いわゆるOJTです。新採用職員は配属された職場で指導担当者(メンター)等のフォローアップを受けながら事務処理等のスキルを身につけていきます。また、県は所管する法令や制度などが多岐にわたっているため、配属された各部局等において、それぞれ必要な研修を実施しています。

派遣研修 体験者の感想

民間企業派遣

担当プロジェクト以外でも、デジタル技術の様々な活用例に触れることができた。日本社会全体のDXが渴望される中、県職員としてあらゆる分野の仕事を進める上で、有益な情報を多く得ることができたと感じている。

中央省庁派遣

国に出向し、様々な省庁や自治体との調整を通じて得た経験は、国の制度を学ぶことはもちろん、全国の様々な自治体の事例に触ることができ、県に戻って事業立案をする場面等で生かせている。

市町村派遣

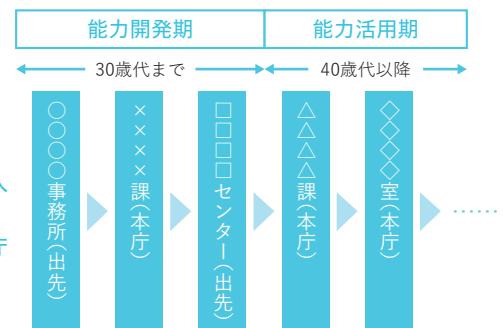
市民との距離が近く、広報・窓口での取組や給付決定等に対し、反応が早く返ってくることを感じた。また、県で仕事をする上で、市町との連携は必須。県の役割として、市町が動きやすくなるような仕事をしてほしいとよく言われた。

人事異動

職種により違いはありますが、行政職の場合、おおよそ3~4年のサイクルで異動があります。

能力開発期では、幅広い能力開発や自己の適性が発見できるよう本庁・出先機関で異なる分野を経験します。能力活用期では、それまでの職務経験や本人の意欲、適性等を重視した配置となります。

また、配属先は、職種(行政職・技術職)や能力、適性、意欲のほか、通勤事情なども考慮して決定されます。異動に当たっては、毎年1回希望する職場や職務内容について所属長と面談する制度を設けています。自分のキャリアプランについてアドバイスを受けるとともに、異動の希望を申告することができます。



キャリアパスインタビュー



総合政策部 広報課 課長

| 平成5年度入庁 | 行政 |

現在の業務

広報課は、県民の皆さんと知事が直接意見交換を行う「とちぎ元気フォーラム」の開催をはじめ、広報紙やメディアを通じた県施策の発信、知事記者会見の運営、地域ブランド力の向上などに取り組んでいます。こうした業務には、自由な発想と前向きな姿勢が欠かせません。課長職として、若い職員の意見やキラリと光る感性を生かし、背中を押すことができるよう心がけています。



これまでのキャリアパス

32年目～ 経営企画課 総務主幹

31年目～ 産業政策課 企業立地班長

30年目～ 国際課 課長補佐(総括)

29年目～ 地域振興課 課長補佐(総括)

26年目～ 総合政策課 副主幹～課長補佐(GLグループリーダー)

23年目～ 産業政策課 係長～副主幹

20年目～ 都市計画課 主査

14年目～ 人事課 主任～主査

育休(2回目)

11年目～ 女性青少年課 主任

7年目～ 公営競技課 主事～主任

育休(1回目)

4年目～ 住宅課 主事

1年目～ 栃木県立がんセンター 主事

入庁

Q 県職員として働く魅力を教えてください。

入庁時は、地元・栃木で性別に関係なく働き続けられる環境に魅力を感じていました。多くの業務を経験した今、県庁の仕事の魅力は「栃木県の未来を形づくる」と感じています。県庁は生活・産業・環境等多様な分野で、広域的な課題に対し「広く」「深く」政策を企画立案し、未来の栃木を描いています。また、職員の挑戦を後押しする風土の中で自身の成長も実感できます。どの職場でものびのびと働けた経験が今につながっています。

Q 仕事をするうえで大切にしていることは?

1つ目は「楽しく、前向きに、迅速に」ということです。困難なことも、とりあえずやってみるという気持ちで取り組むようになっています。大概は何とかなります。2つ目は「人とのつながりを大切にする」ということです。「県庁での仕事のしやすさはいかに多くの人を知っているかだ」と言われたことがあります。県庁の皆さんはもちろん、市町や企業の方々とのつながりは、仕事をする上で私の大きな財産になっています。

県職員を目指している方へのメッセージ

県庁は包容力のある職場です。仕事に邁進したいとき、育児や家庭を重視したいとき、その時々のライフスタイルに合わせたきめ細かな制度と理解があります。『仕事も生活も両方欲張れる』栃木県庁で皆さんと働けることを楽しみにしています。



採用情報トピックス

大学卒業程度採用試験(早期枠)

R8年度募集職種:行政・農業 new・林業・総合土木・警察行政 new

ポイント1

専門試験なし

第1次試験は、基礎能力検査(SCOA)をテストセンター方式で実施します。専門試験はありませんので、民間企業を志望している方も受験がしやすい試験です。※技術職については、第2次試験で専門分野について質疑応答を行うプレゼンテーション面接を実施します。

ポイント2

原則6月1日に合格決定

最終合格発表は、通常の大学卒業程度試験より約2か月早い6月1日(原則)です。また、6月に実施する通常の大学卒業程度試験と併願が可能です。

業務の効果を身近なところに実感できる!

行政

県土整備部 安足土木事務所 保全第一部
令和7年度入庁



Q 県職員を志望した理由や、入庁の決め手は何ですか。

幅広い仕事に携わることができるという点に惹かれました。県職員の仕事は分野が多岐にわたることはもちろん、その分多くの県民と関わることができます。キャリアを通して非常に多くの経験が積めると考え、県職員を選びました。自分が何をしたいのか明確ではなかったので、仕事を通じて適性を見つけられると考えたのも一因です。また、自分の育った地元に密着して働くということは、業務を行うに当たって大きな原動力になると感じたため、栃木県を選びました。

Q 採用試験のハードルはどのように感じましたか。

とても受験しやすいと感じました。一次試験のSCOAは、民間企業の適性検査でも使用されており、私の場合、早期枠試験に向けた特別な準備はほぼありませんでした。全国のテストセンターで一次試験を受けられることもあり日程の調整も行きやすかったです。また、通常枠との併願が可能であり、受けない理由はありませんでした。面接では自分の人となりや興味のある業務をしっかりと伝えることを意識しました。

高校卒業程度採用試験

R8年度募集職種:行政・総合土木・電気・警察行政・小中学校事務

ポイント1

多くの職種で実施

R7年度において、事務系職種は、行政、警察行政、小中学校事務の3職種、技術系職種は、総合土木、電気の2職種で採用試験を実施しました。

※最新の試験の募集職種については、受験案内等で御確認ください。

ポイント2

事務系職種は専門試験なし

事務系職種は、第1次試験に専門試験はありませんので、受験がしやすい試験です。

技術系職種については、各職種に応じた専門的知識及び能力について問う専門試験を行います。

インフラでつなぐとちぎの未来

総合土木

県土整備部 烏山土木事務所 整備部
平成31年度入庁



Q 県職員を志望した理由や、入庁の決め手は何ですか。

高校で都市工学を専攻していたこともあり、学んだ専門知識を生かせる職業に就きたいと考えていました。また、学生時代に関東・東北豪雨で被災した河川の復旧工事を見学し、地域住民の皆様が安心して暮らせるインフラ整備に携わることができることにも魅力を感じたことから、地域住民の皆様の安全・安心を守りつつ、景観に優れたまちづくりを行いたいと思い、志望しました。

Q 職場の雰囲気を教えてください。

職場の雰囲気は和やかで、仕事を進めるうえで困ったことや分からないことがあるとすぐに相談して、皆で教え合えるような風通しの良い環境です。

地域住民の皆様への説明や工事の受注業者とのやりとりなど、専門的な内容もあり難しく感じることもありますが、上司や先輩に助けていただきながら業務に取り組んでいます。

new 大学卒業程度採用試験(秋期)

R8年度募集職種:総合土木

ポイント1

大学3年生受験可能!

ポイント2

大学卒業・大学院修了まで入庁時期を延長可能

(採用試験に合格した大学3年生の大学卒業、大学3・4年生の大学院修士課程修了まで)
※入庁時期延長の申出があった場合に、協議の上決定 ※詳細は受験案内等でよく確認してください。

社会人対象採用試験

R8年度募集職種:(3月募集)化学・農業・林業・総合土木

(7月募集)行政・行政(福祉型) new・化学・農業・林業・総合土木・電気・警察行政・保健師

ポイント1

専門試験なし

社会人経験等を重視しますので、第1次試験はテストセンター方式で実施し、試験種目は基礎能力検査(SCOA)のみで専門試験はありません。なお、技術職については、専門性を確認する面接試験を第2次試験で実施します。

ポイント2

60歳まで受験可能

60歳まで受験可能となります。(警察行政は除く)なお、技術職については、各職種に係る3年以上の職務経験が必要となります。

ポイント3

受験のチャンスは年2回!

令和8年度は、社会人対象試験を2回実施します(一部の技術職)。なお、いずれの試験の最終合格者も、令和9年4月1日からの採用を予定しています。また、1回目と2回目の試験は併願できます。

魅力あるとちぎの林業を次世代へ!

林業

環境森林部 林業木材産業課 生産力強化担当
令和5年度入庁



Q 採用試験のハードルはどのように感じましたか。

採用試験は専門試験がなく、第1次試験は民間企業でも採用されている基礎能力検査と論文試験、第2次試験は口述試験であったため、大きな負担なく仕事と並行しながら試験対策を行うことができました。(※現在、論文試験は第2次試験で実施)

Q 民間との仕事の違いや、これまでの社会人経験が生きていると思うことを教えてください。

林業職は森林整備、林業の振興、治山、鳥獣保護など業務の幅がとても広く、多岐にわたる分野で活躍できるという点が民間企業との違いであり魅力だと思います。また前職と比較すると、より地域や現場に近い業務に携わりつつも、県内全域に対する施策の検討を行なうなど、現場感覚を養いながら林業職として業務に取り組むことができると感じています。一方で、前職(他の官公庁)では出向も経験しており、様々な関係者との調整や意見のとりまとめといった業務経験は、県行政において各市町や林業関係団体の担当者との連絡・調整に生きていると思います。



Q 社会人対象採用試験の受験者へのメッセージをお願いします。

新たな挑戦に正直自分自身も不安が大きかったのですが、入庁してみると社会人経験採用者をはじめ、転職を経験した職員も多く、とても安心しました。

栃木県のために一緒に働きましょう!

障害者を対象とする選考考查

R8年度募集職種:行政・警察行政・小中学校事務



ポイント1

2職種まで併願可能

行政・警察行政・小中学校事務の中から第二希望まで選択できます。

ポイント2

受験者に応じた配慮

受験の際に障害の特性に応じた配慮を行います。

配慮の例

- 点字による受験
- 拡大印刷した試験問題の使用
- 口述試験での手話通訳や要約筆記

熱い一心で“とちぎ”を守るヒーローになろう!

警察行政

警察本部 刑事部 鑑識課
平成28年度入庁



Q 職場環境について感じていることを教えてください。

身体的に不都合なときや、私事でも配慮してもらえるので、休暇も取得しやすく非常に働きやすい環境です。また、悩みや心配事など、上司や同僚が親身になって話を聞いてくれるので、安心して勤務することができます。

Q 県職員(障害者選考採用)を目指している方へのメッセージをお願いします。

障害を抱えていても、輝ける場所があります。初めは、分からぬことだらけですが、先輩や上司が親身になって教えてくれるので心配ありません。様々な業務があり、やりたい業務がきっと見つかると思いますので、ぜひ、警察職員の採用試験にチャレンジしてみてください。



試験種目

		第1次試験				第2次試験			
		適性検査	基礎能力検査	教養試験	専門試験	論文試験 (1,100字程度)	作文試験 (800字程度)	集団試験	プレゼンテーション 面接
大学卒業 程度	早期枠	●	●			●		● (事務系職種)	● (技術系職種)
	通常枠	●		●	●	●		●	●
	秋期	●	●			●		●	●
社会人対象		●	●			●		● (事務系職種)	● (技術系職種)
高校卒業程度		●		●	(技術系職種)		●		●
障害者を対象とする 選考考查				●			●		●

※記載の試験区分は代表的なものです。原則学歴に関係なく受験できます。

試験日程

		年齢要件 (R8.4.1時点)	受験案内公表	受付期間	第1次試験	第2次試験	最終合格発表
大学卒業 程度	早期枠	21~28歳	2月12日	3月3日~3月23日	4月1日~4月14日 テストセンター	5月	6月1日(予定)
	通常枠	21~28(31)歳 ※	2月24日	4月10日~5月8日	6月21日	7月	8月7日(予定)
	秋期	大学3年生受験可能	9月上旬	9月上旬~9月下旬	10月中旬	12月中旬	12月下旬
社会人 対象	3月募集	29~60歳 ※	2月12日	3月3日~3月23日	4月1日~4月20日 テストセンター	6~7月	7月30日(予定)
	7月募集		6月19日	7月10日~7月31日	8月20日~9月8日 テストセンター	10~11月	12月上旬
高校卒業程度		17~20歳		7月10日~8月17日	9月27日	10月上旬~中旬	10月下旬
障害者を対象とする 選考考查		17~31歳	5月22日	6月5日~7月10日		10月下旬	11月中旬

※職種によって、受験対象年齢が異なります。

テストセンター方式とは

外部の試験会場(テストセンター)で、パソコンを使用して実施する試験

ポイント1

試験期間内の都合の
良い日に受験可能!

ポイント2

近くの会場で受験可能!

47都道府県約300か所の会場から選択できます。

→ 遠方にお住まいの方、社会人の方も
受験しやすくなります。

採用までの流れ

人事委員会

任命権者※1



※1 任命権者は、知事、教育長、警察本部長などです。試験合格後の具体的な採用に関する事務は、各任命権者の採用事務担当課が行います。

※2 大学卒業程度採用試験(秋期)で大学3年生が合格した場合、入庁前年度に実施されます。

問い合わせ先

栃木県人事委員会事務局

〒320-8501 宇都宮市塙田1-1-20 南館1階
TEL 028-623-3313 FAX 028-623-3318
e-mail jinjiiin@pref.tochigi.lg.jp